



川内市医師会は、薩摩川内市と受託契約を結び、在宅医療推進事業に取り組んでいます。在宅で医療や介護が必要になっても在宅医療を受けながら最期まで自分らしい生活をする「在宅医療」という選択肢を知っていただくために、在宅医療支援センターの活動や医療・介護職の取り組み・在宅で役に立つ豆知識などの情報を発信しています。

3月19日 いいせんネット研修会

テーマ：訪問看護の現状と課題

- ①講演：在宅におけるターミナルケア・難病訪問看護について
講師：びつぐすまいる訪問看護ステーション 代表 柳田 千草氏
- ②講演：小児訪問看護・新型コロナウイルス感染症予防対策について
講師：済生会訪問看護ステーションせんだい 所長 湯之前 瑞穂氏
- ③講演：精神訪問看護について
講師：訪問看護ステーションみずづ 代表 新田 みずづ氏



オンラインでもたくさんの方に参加していただきました

参加者98名(会場参加者 46名、オンライン参加者 推定52名)

お昼のレベルアップ研修会



「オーラルフレイル」を知って
「食べる」を支えよう！

講師：薩摩川内市歯科医師会
在宅医療推進室 榎本 由美子氏
2月4日(木)
川内市医師会 1階会議室
参加者 4名



～見落とされがちな口腔内の
筋力低下を防ぐために～

講師：薩摩川内市歯科医師会
在宅医療推進室 榎本 由美子氏
3月4日(木)
川内市医師会 1階会議室
参加者 4名 オンライン参加者 5名

6月5日(土)国際交流センターにて予定しておりました「令和3年度 薩摩川内市在宅医療・介護市民フォーラム」は、新型コロナウイルス感染予防のため、延期することに決定いたしました。参加のご連絡をいただいていた方々にはご迷惑をおかけすることとなり、大変申し訳ございません。ご理解のほどよろしくお願いいたします。



コロナ禍のため少人数で実施し、
ひとつひとつ丁寧なアドバイスをいただきました



川内市医師会 在宅医療支援センター
TEL：0996-22-4021 FAX：0996-22-8114
在宅歯科医療推進室は、令和3年4月1日に川内市医師会
在宅医療支援センターに移転（統合）いたしました。



在宅医療の相談窓口

気軽にお電話ください



口腔ケアで新型コロナウイルス感染症の

重症化を予防しよう！



唾液には、免疫物質が含まれており、口腔内に侵入したウイルスや細菌を洗い流す自浄作用や細菌の増殖を抑える抗菌作用等、感染症の予防や全身の健康維持に重要な役割を果たしています。

口腔内の乾燥や清掃不良で細菌が多いと免疫力が低下し、感染が起こりやすくなってしまいます。

また、外出自粛等で人との会話が減ると、正常な働きが低下し、知らないうちに唾液や食物を誤嚥して起こる誤嚥性肺炎の発症やウイルス性肺炎の発症率が高くなります。

口腔ケアで口腔内を清潔に保つことは、新型コロナウイルスの重症化の予防に繋がるといえます。



- ①良く噛んで食べ、唾液を出す。
- ②丁寧な口腔清掃や十分なぶくぶくうがい
・特に歯周病菌に注意（歯周病菌が誤嚥性肺炎の重大な原因の一つ）
・舌の清掃、義歯の手入れ
・歯と歯の間、歯と歯肉の境目を丁寧に磨く
- ③口腔体操や会話で働きを良くして誤嚥を防ぐ。
- ④定期的な歯科受診で口腔の状態を診てもらう。



川内市医師会在宅医療支援センター 林 千鶴

「身寄りの有無にかかわらず安心して暮らせる地域づくり



「身寄り問題」という言葉をご存じですか？

鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会

近年、核家族化や高齢化に加え、地縁血縁といった人間関係の希薄化により、親族がいない、親族がいても疎遠で援助を受けられない「身寄り」のない人が、居住、医療、介護、就労等の場面で、必要なサービスの利用に時間を要したり、制限が生ずるといった社会問題のことでです。

医療については「入院に際し、身元保証人等がいないことのみを理由に、医師が患者の入院を拒否することは、医師法第19条1項に抵触する」（厚労省 2018医政医発0427第2号）とされているものの、入院時の手続き、医療侵襲行為の同意、利用料支払い保証などを「身寄り」の役割とする社会システムにより、上記の場面に直面した患者や窓口職員が困っているのが現状です。

国立社会保障人口問題研究所によれば、2035年に県内高齢者世帯のうち43.1%が単身世帯になるという推計が出ています。

また、高齢者だけでなく、生涯未婚率の上昇により若年単身世帯も増加傾向にあり、「身寄り」のないことはもはや第2のスタンダードであり、全年齢に共通した課題となっています。厚労省が「身寄りがいない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン」を発出し、地域での支援システム構築を推奨しています。

では、薩摩川内市のシステム構築に必要な要素は何か？そのヒントを、当協会の協力団体である、NPO法人つながる鹿児島が、2020年度厚労省社会福祉推進事業「身寄りの有無にかかわらず安心して暮らせる地域づくりの手引き」にまとめ、公開しています。

県内でも霧島での取り組みが始まっており、当協会も身寄り問題委員会を組織し、関連機関を協力して地域づくりに貢献していきます。

参考URL：<https://tsunagaru-k.wixsite.com/tsunagaru-k>



相談等につきましては、各医療機関の医療ソーシャルワーカーへお問い合わせください

在宅医療支援センターより 今後の予定：令和3年7月 いいせんネット研修会

今年度も、状況をみながら、研修会等を会場・オンライン参加を併用して開催するつもりです。

コロナ禍で皆様も大変な思いをされていることと存じます。

一日でも早く安心して過ごせる日常が戻ることを、ならびに皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。



いいせんネット 検索